



嵯峨大念仏狂言



日時 令和3年 2月20日(土) 14:00~15:30 (開場13:30)

会場 京都アスニー4階ホール (京都市中京区丸太町七本町西入)

定員 170名 (先着順・要申込)

○申込方法

京都アスニーホームページまたは電話・FAXにてお申込みください。

公式ホームページ<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/top.html>

TEL 075-812-7222 FAX 075-803-3017 (受付時間: 平日9時~21時、日祝9時~17時 火曜日休館)

申込期間: 1月6日(水)~開催日前日

但し、定員に達しますと受付は終了いたします

主催
共催

公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
公益財団法人京都市生涯学習振興財団

京の念仏狂言 — 嵯峨大念仏狂言 —

2021.2.20(土) 14:00-15:30 (開場13:30~)

京都市域に保存継承されている民俗行事・芸能の公演を行うことにより、保存団体の伝承活動の活性化を高めるとともに、より多くの方々に民俗行事・芸能について理解いただき、文化財保護思想の啓発を図り、合わせて京都の文化・観光の振興に努めるものです。

今年度は、「京都の念仏狂言」をテーマとして講演と公演をご覧ください。

第1部 基調講演

「京都の念仏狂言について」

講師 京都市文化財保護審議会委員 山路 興造

第2部 公演

国指定重要無形民俗文化財「嵯峨大念仏狂言」

嵯峨大念佛狂言保存会

[京都の念仏狂言]

平安時代後期に良忍上人が融通念仏の信仰を開き、融通念仏を行う法会である「大念仏会」が行われるようになります。大念仏会は、鎌倉時代から室町時代には庶民の間にも広がり、戦国時代から江戸時代頃には一般民衆によって行われるようになり、狂言がともなうようになったと考えられます。大念仏会にともなう狂言が芸能化していき、今日、嵯峨大念仏狂言をはじめ、壬生大念仏狂言、千本えんま堂大念仏狂言、神泉苑狂言として伝えられています。

嵯峨大念仏狂言は、清凉寺の法会にて行われる大念仏狂言で、伝えられている演目は現在20演目あり、狂言仕立ての「ヤワラカモン」と能楽仕立ての「カタモン」に分けられます。すべての役者が面をつけ身振り手振りのみによって芝居が進行する無言劇で、おおらかな古風さがよく残されています。

[講師紹介]

山路興造(やまじこうぞう)

昭和14(1939)年東京生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、国立文化財研究所芸能部(現東京文化財研究所無形文化遺産部)嘱託や京都市歴史資料館主幹を経て、同館館長や京都市文化財保護課参与を歴任。京都市文化財保護審議会委員、芸能史研究会代表委員、民俗芸能学会代表理事等。著書には、『京都 芸能と民俗の文化史』(2009年、思文閣)、『中世芸能の底流』(2010年、岩田書院)など。

[出演団体紹介]

嵯峨大念佛狂言保存会(さがだいねんぶつぎょうげんぼぞんかい)

京都市右京区嵯峨。嵯峨大念仏狂言は、「社中」と「大念仏講(鉦講)」とよばれる組織によって行われていたが、昭和38(1963)年より一時中断、昭和50(1975)年当保存会を結成。昭和58(1983)年に京都市登録民俗文化財に登録、昭和61(1986)年には重要無形民俗文化財に指定。現在、清凉寺狂言堂にて4月の春季公演と10月の秋季公演、3月15日の清凉寺お松明式、11月の嵐山もみじ祭などにおいて公演。



公益財団法人京都市文化観光資源保護財団

歴史とロマンを秘めた千年の古都京都—その文化遺産の保護と未来のために—

京都の文化遺産を守り伝えるための募金に皆様のご協力をお願いします。

<http://www.kyobunka.or.jp>